

講座

こころの友伝道入門シリーズ 6

いち
三つの基本の一



「福音宣教の使命」



日本基督教団
新宿西教会

牧師 **深谷春男**

こころの友伝道の活動には、2009年7月に「こころの友伝道の手引き」改訂第四版が出版されました。ここにはまず、「こころの友伝道」の働きは「福音宣教の使命」とであると記されます。

その第1が以下の文言です。

1, 福音の宣教は教会に託された使命であり、キリスト者は時代の問題を共に担いつつ、この使命に召されています。(マタイ 25:31-46、マルコ 16:15-18 ヨハネ 16:33 詩篇 96:1-13)

まず「福音の宣教が、教会に託された使命」と宣言されています。

「福音」とは何か？

・「時は満ちた。神の国は近づいた。

悔い改めて、福音を信ぜよ。」

これが主イエスの宣教の第一声でした。

・福音は、ロマ書 3章 21～26 節にパウロによって明瞭に示されました。

それはもう言うまでもありません。旧新約聖書に記された「神の贖いの御業」です。

旧約でいえば、創世記 3～5 章以来の人間の罪と死の支配に対する神の御自身の罪の赦し

と永遠の命の到来予告に始まります。詩篇 51 篇の罪の赦し、イザヤ 53 章の苦難の僕の代理贖罪、エレミヤ 31 章の新しい契約。エペソ 2 章の罪と罪過により死んでいた者の復活、ロマ書 3:21～26 の神の救いの福音宣言があります。さらにルカ 15 章の迷える羊の救い。放蕩息子の帰還。神の御子の血潮による贖い。これ以外の救いはありません。このことを告白した文章で、わたしが一番感動したものを以下に紹介します。

「**終(つい)に彼を捨てる**」 内村鑑三
国のために

キリストを信じたる者は終に彼を捨てる。
社会人類のために

キリストを信じたる者は終に彼を捨てる。
教勢拡張を思い立ちて

キリストを信じたる者は終に彼を捨てる。
キリストの人格にあこがれて

キリストを信じたる者は終に彼を捨てる。
美(よ)き思想を得んとて

キリストを信じたる者は終に彼を捨てる。
患難苦痛を慰められんために

キリストを信じたる者は終に彼を捨てる。

されども、おのが罪を示され、その苦痛に耐えずして、「ああわれ、悩める人なるかな」の声を発し、キリストの十字架において神の前